

5年生考案の『とくさんどうぶつ』は村の特産物のイメージキャラクターです。



〈とくさんどうぶつ〉左上から、キクイノ(キクイモ)、ヒゴマ(エゴマ)、モフもふ(ブロッコリー)、一郎(イチゴ)、ゴン太(ごんぼつば)、しまえ(インゲン)、あもね(あぶくまもち)、レッシー(シタケ)、ウツシッシ(飯舘の牛)、かほにゃん(いいたて雪つ娘)、ナツハム(ナツハゼ)、オリびよん(花/iいたてオリンピック)

『とくさんどうぶつ』は、学園の5年生が考案したキャラクターで、村の特産物がモチーフ。紙製ファイルやパンフレット、ぬいぐるみなどのグッズに取り入れ、情報発信に活用しているそうです。3・4年生は、自分達が栽培したごんぼつば、前期課程全員で田植え・稲刈りを行った米「里山のつぶ」と、県内産もち米で作った凍み餅を持参。試食会のオリジナルレシピ(P28参照)や、9年生がデザインしたパッケージも紹介しました。他にもプログラムツールを使った「飯舘牛クイズ」「いいたて検定」などが披露されました。



村役場を訪れ学びの報告や凍み餅の贈呈を行いました。

3月10日、いいたて希望の里学園の3〜5年生が来庁し、杉岡村長、遠藤教育長に、『いいたて学』の学びについて報告しました。杉岡村長はアイデアいっぱい活動に感銘を受け、「成果品も素晴らしいが、それ以上に皆さんの温かな気持ちがうれしい」と感謝を伝えました。

体験を通してふるさとを学んでいます  
『いいたて学』の学びを報告したよ!



『いいたて学』の学びが詰まった作品は村役場の玄関ホールに展示しました。

### いいたて希望の里学園 学校だより

3月13日に行われた学園の卒業式から、在校生代表の送辞と卒業生代表の答辞を紹介します。その想いにぜひ触れてみてください。

未来に幸あれ!

こちらのQRコードから。



「ネイティブスピーカース飯舘言葉の達人たち」はお休みします。◀これまでの回はこちらのQRコードから。



飯舘村 YouTube



＜編集後記＞  
●飯舘村でのびのびと過ごした子ども達。卒業・卒園式をはじめ、広報を作るこの立場でしか立ち会えない、そんな貴重な瞬間が、3月もたくさんありました。こんなにも感動的な旅立ちの瞬間をもっと多くの方に見届けてほしいなと感じます。…撮影中に涙が溢れても、最高の写真を撮ることが

目標です。(菅野)  
●3月、「氣まぐれ茶屋ちえこ」の佐々木千榮子さんに教えていただき福寿草の群生に遭遇。ほっこり幸せな気持ちになりました。同じ春は二度と来ません。今年も飯舘の春を心のアルバムにたくさん収めたいです。(星)

